

8 月 18 日：VN 指数は方向感なく続落

HNX 指数は上昇したが、売りの強まった VN 指数が下落したため、ベトナム株はまちまちな展開となった。

ホーチミン市場の VN 指数は、1,360 ポイントを挟み一進一退で推移した。

最終的に同指数は 0.16% (2.15 ポイント) 安の 1,360.94 ポイントで取引を終えた。

午前の取引では主に素材セクターが買われ、同指数は上昇していた。

騰落別では 197 銘柄が下落、172 銘柄が上昇した。

しかし出来高はここ数日間で少ないものだった。売買高は 6 億 8,980 万株、売買代金は 24 兆 4,100 億ドン (10 億 6,000 万米ドル) となった。

午後に入り銀行株が売られ、VN 指数は下げに転換した。VN30 指数は 0.31% 安の 1,489.54 ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、16 銘柄が下落、11 銘柄が上昇、3 銘柄は変わらずだった。

セクター別では、多くの大手銀行株が売られたが、不動産株は引き続き値下がり寄与度でトップとなった。

ビンググループ 3 社 (ビンホームズ (VHM)、ビンググループ (VIC)、ビンコムリテール (VRE)) は、それぞれ 0.89~1.01% 下落した

VP バンク (VPB) -1.69%、テクコムバンク (TCB) -0.94%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -0.7% も売られた。

しかし、素材セクターといった一部の大型株は買われ、マーケットを支えた。

その中でも 1.51% 上昇したマサングループ (MSN) は値上がり寄与度でトップとなった。ビナミルク +0.78%、モバイルワールドインベストメント +1.53% がそれに続いた。

この動きはサイゴンハノイ証券 (SHS) の予想と合致した。「VN 指数は引き続きもみ合い、上値抵抗線である 1,370~1,380 ポイントと下値支持線 1,325~1,350 ポイントで推移する可能性がある」 (同証券会社の投資家向けのデイリーレポート)

「また先週少しずつ利益確定売りをし始めた投資家は、今週はマーケットを観察し、タイミングを待つのが良い。現在の価格帯での買いには慎重になるべきだ」（同証券会社）

「両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き 1 兆ドン以上の売り越しをしたため、外国人投資家による利益確定売りの動きは投資家心理の重しになった」

そのうち、外国人投資家はホーチミン市場で 1 兆 8,900 億ドン、ハノイ市場で 416 億 2,000 万ドンを売り越した。

一方ハノイ市場の HNX 指数は 0.5% 安の 344.82 ポイントで取引を終えた。同指数は午前の取引は 345.63 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 5,730 万株超、売買代金は 4 兆 2,000 億ドンを超えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。